

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	L-乳酸ブチル
供給者の会社名	株式会社武蔵野化学研究所
住所	東京都千代田区丸の内一丁目8番2号
担当部門	品質保証室
電話番号	03-6810-0241
FAX番号	03-6810-0146
緊急連絡電話番号	03-6810-0242
整理番号	L02-03
推奨用途及び使用上の制限	香料、溶剤、洗浄剤、合成中間体、高沸点溶剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類			
物理化学的危険性	引火性液体	区分4	
健康に対する有害性	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3	（気道刺激性） （麻酔作用）
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分3	

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

可燃性液体
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
水生生物に有害

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び保管の着火源から遠ざけること。禁煙。
ミスト/蒸気/スプレアの吸入を避けること。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管

気分が悪いときは医師の診察／手当を受けること。
火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	L-乳酸ブチル
別名	(S)-2-ヒドロキシプロピオン酸ブチル
成分及び濃度	L-乳酸ブチル 98%以上
化学特性（示性式）	CH ₃ CH(OH)COOC ₄ H ₉
CAS登録番号（CAS RN）	34451-19-9 (DL体：138-22-7)
官報公示整理番号	(2)-1372
TSCA	登録有り（ACTIVE）
EINECS	252-036-3 (DL体：205-316-4)

輸出統計品目 2918.11-900
 輸入統計品目 2918.11-000

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
 皮膚に付着した場合 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を多量の水で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。
 眼に入った場合 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
 使ってはならない消火剤 棒状放水、水噴霧
 火災時の特有の危険有害性 熱、火花及び火炎で発火するおそれがある。
 激しく加熱すると燃焼する。
 火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
 特有の消火方法 火元への燃焼源を絶ち、消火剤を使用して消火する。
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 消火活動時には必要に応じて適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 全ての着火源を取り除く。
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
 関係者以外の立入りを禁止する。
 密閉された場所に立入る前に換気する。
 環境に対する注意事項 環境への放出を避けること。
 封じ込め及び浄化の方法及び機材 危険でなければ漏れを止める。
 漏れは吸収剤を使用して回収し、密閉容器に入れる。
 回収後は、多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
 安全取扱い注意事項 取扱い後はよく手を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 消防法の規制に従う。
 ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
 屋外または換気の良い場所での使用すること。
 皮膚との接触を避けること。
 保管 安全な保管条件 遮光した気密容器にて、常温で保管する。
 安全な容器包装材料 ポリエチレン等の樹脂系、又はステンレス鋼

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 未設定
 許容濃度 日本産衛学会 未設定
 ACGIH TWA 5ppm
 設備対策 取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設置すること。作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
 保護具 呼吸用保護具 適切な呼吸器保護具を着用すること。
 手の保護具 適切な保護手袋を着用すること。
 眼、顔面の保護具 適切な眼の保護具を着用すること。
 皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 液体
 色 無色澄明
 臭い 特徴あるにおいがある。

※以下、参考としてD L - 乳酸ブチルのデータを以下に示す。

融点	-43℃
沸点	188℃
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限／可燃限界	データなし
引火点	91℃（クリーブランド開放式）
自然発火点	382℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	3.8mPa・s（20℃）
溶解度	水に微溶，アルコール，油類と相溶。
n-オクタノール／水分配係数（log値）	log POW = 0.8
蒸気圧	0.043 kPa(20℃)
密度及び／又は相対密度	0.984（d20/20）
相対ガス密度	5.0 g/L（空気=1）
粒子特性	該当しない
燃焼熱	27,400 J/g

1 0. 安定性及び反応性

反応性	酸・アルカリの存在下、加水分解することがある。
化学的安定性	通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	強酸、強アルカリと反応が起きうる。
避けるべき条件	裸火、過熱、日光
混触危険物質	強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	一酸化炭素

1 1. 有害性情報

※知見無し。参考として「D L - 乳酸ブチル」のデータを以下に示す。

急性毒性（経口）	LD50 > 2000 mg / kg（Rat）
急性毒性（経皮）	LD50 > 12 gm / kg（Rat）
急性毒性（吸入：気体）	GHS定義における液体である。区分に該当しない。
急性毒性（吸入：蒸気）	データなし
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	LD50 > 5.14 gm / m ³ /4H（Rat）
皮膚腐食性／刺激性	GHS分類：分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	データなし
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	GHS分類：区分該当しない。細菌を用いる変異原性試験で陰性。
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
生殖毒性・授乳影響	データなし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	GHS分類：区分3（気道刺激性、麻酔作用）。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし
誤えん有害性	データなし

1 2. 環境影響情報

※知見無し。参考として「D L - 乳酸ブチル」のデータを以下に示す。

生態毒性	水生環境有害性（短期/急性）	GHS分類：区分3
	水生環境有害性（長期/慢性）	GHS分類：区分に該当しない
残留性・分解性		良分解性
生態蓄積性		GHS分類：分類できない。
土壤中の移動性		GHS分類：分類できない。
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
汚染容器及び包装	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	該当しない
国連輸送品名	該当しない
国連分類	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない

国内規制

海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
陸上規制情報	消防法の規制に従う。
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策	移送時にイエローカードの保持が必要。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。
緊急時応急措置指針番号	該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険有害物（法第57条、施行令第18条別表第9）
名称等を通知すべき危険有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9） No.430（乳酸ノルマルブチル）

消防法

リスクアセスメントを実施すべき危険有害物（法第57条の3）
第4類引火性液体、第三石油類（非水溶性）

毒物及び劇物取締法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

該当しない

16. その他の情報

引用文献

NITE-CHRIP: 独立行政法人製品評価技術基盤機構
職場のあんぜんサイト: 厚生労働省
有機合成化学辞典 (社) 有機合成化学協会講談社サイエンティフィック
化学大辞典 共立出版
等

免責事項

記載内容は現時点で当社が入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。